

所 報

(2018.8.1～8.31)

□図書受入

| | 和 書 | 洋 書 | 計 |
|-----|-----|-----|-----|
| 購 入 | 46 | 0 | 46 |
| 受 贈 | 149 | 0 | 149 |
| 合 計 | 195 | 0 | 195 |

□閲覧サービス

閲覧

| | |
|------|-----|
| 開館日数 | 18日 |
| 閲覧者数 | 19名 |
| 貸出図書 | 32冊 |

コピーサービス

| | | |
|----|----|--------|
| 学外 | 7件 | 411枚 |
| 学内 | 8件 | 2,904枚 |

日 誌

- 1日 夏季休暇開館(～9月15日, 8月13～19日閉館)
事務会議
- 6日 創立100周年記念事業関連ヒアリング(出張:藤原, 於:倉敷, ～7日)
- 13日 夏季休業(～19日)
- 21日 現代イギリスの福祉改革と排除の問題研究プロジェクト研究会(於:市ヶ谷)
報告:吉田公記(法政大学大学院社会学研究科)「EU移民の福祉受給と排外主義」, 鈴木宗徳(法政大学社会学部)「大衆メディアにおける福祉受給者バッシング」
コメンテーター:二宮元(琉球大学)
- 27日 大原社会政策研究会(第49回)(於:富士緑の休暇村)
遠藤希和子(立正大学社会福祉学部助教)
「地域に住み続けるための移住という選択——Continuing Care Retirement Community(CCRC)を地域居住と呼べるのか」
- 28日 無産政党資料研究会(於:市ヶ谷, 榎, 海妻, 清水, 杉本, 立本, 福家, 山本)
- 29日 事務会議

法政大学大原社会問題研究所閲覧室等利用案内(抄)

【利用資格】 どなたでもご利用いただけます。

【開館時間】 〈平日〉9:00～16:30(予約制)

夏期休暇期間(8月上旬～9月中旬)は9:00～16:00

*必ず事前にFAXやメールでご来館日, 閲覧資料をお知らせください。11:30～12:30は受付ができません。出納受付は閉館30分前までです。土曜日は原則閉館となります。開館日については, ホームページでご確認ください。

【複写サービス】 〈依頼コピー〉40円(60円)／枚

〈セルフコピー〉10円／枚

〈セルフ撮影〉10円／枚

〈プリンター印刷〉10円／枚

*資料の複写をご希望の場合は, 複写が可能かどうかを係員にお尋ねください。依頼コピーは1枚40円ですが, 資料の状態によって特別な対応を要するものは1枚60円です。セルフコピーは状態の良い戦後の図書, 雑誌に限ります。貴重書, 劣化の激しい資料, 製本新聞は複写できません。撮影の際は, フラッシュ撮影はしないでください。

【館外貸出】

| | 法政大学教職員 研究員・大学院生 | 学外者(学生は除く) |
|------|---------------------|------------|
| 貸出冊数 | 10冊 | 5冊 |
| 貸出期間 | 3ヶ月 | 3週間 |

*学生は館内閲覧のみ, 学外者の貸出は貴重書を除く図書のみです。

【非来館サービス】

〈文献複写〉上記複写料金+送料実費で行います。

〈図書の郵送貸出し〉図書館・研究機関を対象に行います。冊数は3冊まで, 期間は1ヶ月です。

【利用ガイド・見学】

*ゼミ・授業の1コマとして, また, グループ・個人を対象に随時行っています。事前にご連絡ください。併せて, 当研究所ホームページもご覧ください。

<http://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/>

大原社会問題研究所雑誌

No.722 (2018年12月号)

2018年12月1日発行

定価1,000円(本体926円), 年間購読料12,000円

編集(兼)発行人 法政大学大原社会問題研究所

編集長 藤原千沙

所長 鈴木玲

〒194-0298 東京都町田市相原町4342

電話 042(783)2305

投稿募集

『大原社会問題研究所雑誌』は、社会・労働問題に関する「論文」「資料紹介」「調査報告」を募集しております。下記の投稿規程と執筆要領に基づいてご投稿ください。規程と要領に沿わない原稿は受理できません。[2018.10.1 改定]

投稿規程

1. 投稿原稿はワープロ・パソコン作成による未発表のものに限ります。
2. 投稿原稿の分量は、原則 20,000字以内（図表・スペースを含む）です。
3. 投稿原稿は、審査用原稿となりますので、本文や注などで執筆者が特定される記述をしないでください。1ページ目は、原稿の題目に続けて本文に入り、著者名は記載しないでください。
4. 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。「論文」は審査の結果、「研究ノート」となることがあります。
5. 掲載原稿には、掲載誌 2冊と抜刷 30部をさしあげます。
6. 投稿者は、①投稿原稿（審査用原稿）3部、②1,000字程度の要旨 3部、③表題紙 3部を送付してください。表題紙に記載する事項は、投稿原稿の①題名、②目次、③分量（図表を除く文字カウント数（スペースを含める）、図表の数）、④著者の氏名（よみがなを併記）、⑤肩書き（所属・職名、大学の場合は学部等まで）、⑥略歴、⑦連絡先（郵便番号、住所、電話番号、電子メールアドレス）です。

【送付先】〒194-0298 東京都町田市相原町 4342 法政大学大原社会問題研究所
『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

投稿原稿 執筆要領

1. A4判の横書き、40字×40行、下部にページ数を付し、白黒・片面で印刷する。
2. 原則として、数字は算用数字、句読点は「、」と「。」を用いる。
3. 本文の各節には「.」のない 1 2 …を用いる。
4. ワードプロソフトによる脚注の挿入機能は使用してよい。
5. 図表は、白黒印刷できるものを提出する。本文には余白に【表 1】等と挿入場所を指定し、図表そのものは別紙に一括し、通し番号をつける。図表の文字換算数は定めないが、審査にあたっては、図表の大きさで全体の分量を概算する。
6. 参考文献は、著者名・発行年・論文名・雑誌名（書籍名）・巻号（出版社）・雑誌の場合は頁数を記述し、著者名（姓）のアルファベット順または五十音順に記載する。ただし他の記載方法も可とする。

【記載例】

榎一江 (2017) 「近代日本のパターナリズムと福利施設」『大原社会問題研究所雑誌』705号、29-43頁。

原伸子 (2015) 「イギリスにおける福祉改革と子どもの貧困——「第三の道」と社会的投資アプローチ」原伸子・岩田美香・宮島喬編『現代社会と子どもの貧困——福祉・労働の視点から』大月書店。

Suzuki, Akira (2016) “Japanese Labour Unions and Nuclear Energy: A Historical Analysis of Their Ideologies and Worldviews,” *Journal of Contemporary Asia*, Vol.46, No.4, 591-613.